

## これまでに開放性眼外傷の治療を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属静岡病院眼科では「当院における過去14年間の開放性眼外傷の検討」という研究を行っております。この研究は、2007年～2021年までの過去14年間に開放性眼外傷により当院で手術加療した患者さんの視力予後を調べることを主な目的としています。そのため、過去に治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、開放性眼外傷(眼球破裂、角膜穿孔、角膜裂傷、強膜穿孔、眼内異物)により、西暦2007年1月1日から西暦2021年4月1日の間に眼科で手術を受けた方です。

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

診断名、年齢、性別、検査結果(術前・術後視力)、治療内容

期間：西暦2007年1月1日から西暦2021年4月1日

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究責任者 黒田 浩平

○過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、眼科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡く

ださい。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

**【問い合わせ先】**

順天堂大学医学部附属静岡病院 眼科

電話：0559-48-3111

研究担当者：黒田浩平